

木津川市教育委員会会議録

令和6年第5回木津川市教育委員会定例会

○日 時：令和6年5月28日（火） 午後3時30分から午後4時21分まで

○場 所：木津川市役所5階全員協議会室

○出席者：竹本充代教育長、有賀やよい委員、小松信夫委員、佐脇貞憲委員、皆川麻紀委員
（事務局）平井教育部長、八田理事兼文化財保護課長、大村理事、山口理事、福井教育部次長兼教育総務課長、東村学校教育課長、中島社会教育課長

1. 開 会 教育長
 教育長あいさつ

2. 前回会議録の承認
 異議なく承認された。

3. 議事
 《議案第18号 木津川市立学校評議員の委嘱について》
 教育長が、事務局に説明を求めた。
 事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

資料に記載漏れがあり、追記願う。

市立小中学校長からの推薦により委嘱するもの。任期は令和7年3月31日まで。

【質疑】

教育長：提案がない学校はコミュニティスクールとなっている。それぞれの委嘱時期に提案されるのか。

事務局：木津、城山台、上狛の各小学校は学校運営協議会を組織し、地域ぐるみでの学校運営に取り組んでいる。城山台、上狛両小学校については、3月の教育委員会定例会でPTA役員交代により委嘱について提案し、承認された。木津小学校については、6月の定例会で委嘱について提案する予定である。

【採決】

教育長が議案第18号について採決を行い、全員一致で可決された。

《議案第19号 木津川市立幼稚園評議員の委嘱について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

市立幼稚園長からの推薦により委嘱するもの。任期は令和7年3月31日まで。

【採決】

教育長が議案第19号について採決を行い、全員一致で可決された。

《議案第20号 令和6年度木津川市一般会計補正予算第1号について》

教育長が、事務局に説明を求めた。

事務局が、議案書に基づき説明を行った。

〔説明〕

令和6年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ2億1793万7千円を追加し、総額332億4893万7千円とする。そのうち教育費の占める割合は12.7%となる。今回の補正では、教育費の歳入歳出予算の補正はない。加茂文化センターの吊り天井改修工事の財源内訳が変更になること、令和7年度からの給食センター給食調理・配送業務委託のため債務負担行為を設定する。

【質疑】

教育長：債務負担行為の仕組みについて説明を願う。

事務局：令和6年度中には支出はない。令和7年度から5年間の継続事業としての限度額を設定するもの。令和7年4月からの業務を委託するので、事業者の準備行為のため業者選定及び契約を前年度にするために必要となる。本来は当初予算で計上することも可能であるが、5年前と同様6月に補正予算として計上することとした。

委員：前の5年間も同様にしているのか。

事務局：令和2年度から6年度の委託分について、同様に令和元年度の6月議会に補正予算を計上し、11月プロポーザル方式で業者を選定している。

委員：契約見込額は変動しているのか。

事務局：前回の5年分と比較して1億7545万円の増となっている。人件費13%増、

配送車の燃料費についても現状の価格から勘案し、額を設定した。

教育長：給食は安全安心安定した供給が大切である。信頼できる事業者に委託したい。前回のプロポーザル応募は1者であった。本来は複数の事業者が参加されることが望ましいが、1者であっても最低限の点数設定をし、実績等の参加要件なども確認しつつ、プレゼンテーションの中で安全安心な給食提供をされるのかを審議し、選定したい。

委員：現在の委託業者の動向はどうか。

教育長：公募に対する応募状況を見ていきたい。

委員：全国的に会社が倒産したり、学校給食の委託が敬遠される流れであるように聞いている。

教育長：現在の委託業者は全国展開している会社で、木津川市の委託を受けたことをきっかけに近畿地方でも事業を拡大していると聞いている。入札の仕様を設定して安心安全安定供給できる業者を選定したい。

委員：第1、第2センターは同じ事業者か。

事務局：同じである。

委員：現在は同じ事業者だが、プロポーザルは別にしていただけないか。

事務局：プロポーザルはまとめて実施している。業務内容等はそれぞれのセンターごとになっている。

教育長：同じ業者だと、万が一の時に人の手配などやりくりしやすいということはある。また食材の仕入れや配送についても工夫しやすいと思われる。

教育長：今回の補正予算で教育費の増減はなかった。4月1日付の機構改革に伴う人件費等の補正は12月議会で計上することになっている。

委員：幼稚園の所管が他部局になったが、給食はどうなるのか。

教育長：給食センターで小中学校の分と一緒に調理配送する。これまでと変わらない。保育園は自園調理している。

委員：委託業務は給食センターと学校間の配送と調理になるのか。

教育長：業務の流れとしては、おおまかに調理、配送、回収、洗浄、消毒となる。学校数も多いので、先に食器、その後出来上がった給食を配送するなど工夫してもらっている。

委員：加茂文化センターの吊り天井の工事は、必要な金額は変更ないが、項目が変更になったということか。

事務局：事業は実施する。事業に必要な予算の財源が変更になる。財政課で市全体予算から割り振っている。当初予算では、過疎対策事業債2000万円を加茂文化センターの工事の財源として割り当てられていたが、そのうちの410万円を高齢介護課の新規事業に割り当てることになったため、その分は一般財源で対応することに変更された。

委員：地方債は国で言う国債のようなもの。そのお金を加茂文化センターに使う予定だったが、その一部を高齢介護課の事業で使うので、その分一般財源を使うように変更になった。

教育長：財政課で有利になるよう財源を調整している。

委員：個別に有利な財源確保に努められていることはわかるが、予算全体となると把握が難しい。内容は了解した。

4. 教育長報告（令和6年4月24日～令和6年5月28日）

教育長が、事業報告に基づき報告を行った。中でも次の点について、説明があった。

- ・ 5月 2日 相楽小学校新校舎竣工式。
- ・ 5月13日 森永教育長退任式が行われ、学校長なども見送りに参加されていた。
- ・ 5月14日 新教育長の任命書交付式。
- ・ 5月16日 皆川教育委員の任命書交付式が行われた。今後4年間の任期となるので、引き続きよろしく願いたい。
- ・ 5月18日 木津川市文化芸術協会第4回社員総会、令和6年度木津川市国際交流協会総会に出席。
- ・ 5月21日 道路管理者、警察等の出席の下、通学路等の安全推進会議を開催し、PTAからの要望などについて協議した。この会議を通して、警察の府民公募に提案するなど、課題に応じた手段を取ってもらっている。また会議終了後には、山城地域を視察した。
- ・ 5月23日 令和6年度山城地方教育委員会連絡協議会総会及び教育長部会・委員部会合同研修会に委員と共に出席した。
- ・ 5月24日 生きがい大学開講式に約300人が出席された。
- ・ 5月27日 通算第3回目の恭仁宮跡保存活用計画策定委員会が開催され、今年度中の計画策定に向けて、各委員から様々な意見が出された。

5. その他

（1）今後の行事予定

事務局が、今後の行事予定について説明を行った。

（2）次回教育委員会は、令和6年6月26日（水）午後に開催することを確認した。

教育長が、会議を閉会した。